

権利擁護・虐待防止に関するレポート

氏名	原田 千春
----	-------

1. 平成30年度の目標（平成31年度より勤務している方は無記入）

- ① 利用者との間にいかなる場合があっても暴力等の体罰は行いません。他の職員が暴力を振っている場面を目にした場合は止め、報告をします。
- ② 利用者の安全に必要な抑制である場合は事前に医師の同意を得ること等、必要な手段を取ります。そしてなぜ抑制が必要かを考えます。
- ③ 不必要な会話や身体接触はしません。常に相手の立場に立ち不快に感じないか考えます。
- ④ 利用者はもちろん職員間での言葉遣い（敬語）を心掛けます。
- ⑤ 心身に影響が出ている・出ると思われる状況をキャッチした場合はそのままにせず、必要な報告をします。

2. 上記目標に関する振り返り（平成31年度より勤務している方は無記入）

- ① 暴力等の体罰は行っていませんし、その場面も目撃しませんでした。
- ② 不必要な身体接触はしていませんし、相手の立場を考えて関わるように心掛けていました。
- ③ 言葉遣いは、利用者・職員ともに敬語を遣うように心掛けていましたが、職員間では時々使っていないときがありました。若干の親しみを考えての言動ですが、相手の捉え方もあるためこれからも意識していきます。
- ④ 利用者相談のなかで、経済的虐待にあたるであろう事案がありましたので、横山所長へ報告し対応しました。今後も、キャッチした場合には早急に対応、また、未然に防げるよう想定した支援をしていきます。

3. 今年度取り組んでいきたいこと

昨年度に引き続き、同様に取り組んでいきます。

- ① 利用者との間にいかなる場合があっても暴力等の体罰は行いません。他の職員が暴力を振っている場面を目にした場合は止め、報告をします。
- ② 利用者の安全に必要な抑制である場合は事前に医師の同意を得ること等、必要な手段を取ります。そしてなぜ抑制が必要かを考えます。
- ③ 不必要な会話や身体接触はしません。常に相手の立場に立ち不快に感じないか考えます。
- ④ 利用者はもちろん職員間での言葉遣い（敬語）を心掛けます。
- ⑤ 心身に影響が出ている・出ると思われる状況をキャッチした場合はそのままにせず、必要な報告をします。